

2011主要展示会カレンダー

大和商工会議所
建設業部会情報分科会

平成23年12月提供

2011年度に開催される建設業関連の主要な展示会情報をご紹介します。

<p>「建築をつくることは未来をつくることである」公開シンポジ</p> <p>Y-GSAの校長を2007年の開校より4年間務めた山本理顕が、今年の3月をもって横浜国立大学の教授を退任いたしました。今年は3月11日の東日本大震災もあり、一般公開の退任記念の催しを控えておりましたが、この度改めて「帰心の会」と共催でシンポジウムを開催することいたしました。</p>	<p>会期 2011年12月22日(木) 16:00～19:30 場所 横浜市開港記念会館 講堂(横浜市中区本町) 入場料 無料(予約不要・先着順) 主催 横浜国立大学大学 等 WEB http://www.y-gsa.jp/</p>
<p>TOTOギャラリー・間の催し「311 失われた街」展</p> <p>建築文化のプラットフォームであるTOTOギャラリー・間では、「3月11日に何が起きたのか」を正確に伝えることが復興の第一歩になると認識します。展覧会では、地震と津波により失われた14地域の街並みを1/500のスケールの模型で復元します。</p>	<p>会期 2011年11月2日(水)～12月24日(土) 場所 TOTOギャラリー・間(東京都港区南青山) 入場料 無料 主催 TOTOギャラリー・間 WEB http://www.toto.co.jp/gallerma/</p>
<p>第16回 震災対策技術展</p> <p>「ここまで来た、災害への備えと対応のテクノロジー」と題し、後援には、内閣府・文部科学省・国土交通省・気象庁・総務省・消防庁・防衛省・経済産業省・全国知事会等。2日間で15,000人の来場者。①震災・災害への備え、②緊急対応力、③救援、復旧活動、④自然災害対策技術がテーマ。</p>	<p>会期 2012年2月2日～3日 場所 パシフィコ横浜(横浜) 入場料 1,000円(招待状持参者は無料) 主催 第16回「震災対策技術展」実行委員会 WEB http://www.exhibitiontech.com/etec/</p>
<p>第2回 エコハウス&エコビルディングEXPO 等</p> <p>自然エネルギーに関する日本最大のエコ・イベント。国内メーカー以外に外国からの出展者も多い。「第5回太陽電池展」・「第8回水素・燃料電池展」・「第3回太陽光発電システム施工展」以外にもスマートグリッド、試作加工技術展もあり、各社の研究情報や、メーカーの方向性が理解できる。</p>	<p>会期 2012年2月29日～3月2日 場所 東京ビッグサイト(東京) 入場料 無料 主催 リードエグジビジョンジャパン(株) WEB http://www.ecohouseexpo.jp/</p>
<p>建築・建材展 2012(第18回)</p> <p>震 省エネ・創エネ ゾーン」・「国産材ゾーン」など。展示規模は250社600小間。来場者見込みは12万人。対象者は建築設計事務所、建設業、工務店・リフォーム業、(建材・設備などの)商社など。</p>	<p>会期 2012年3月6日～3月9日 場所 東京ビッグサイト(東京) 入場料 1,500円(事前登録者は無料) 主催 日本経済新聞社 WEB http://www.ac-materials.jp/</p>
<p>第27回 ジャパン建材フェア</p> <p>国内最大級の住宅建材総合展示即売会。建築資材や住宅関連機器メーカーが新製品や売れ筋商品を紹介。木質・水廻り・外装・素材・電機等の商品情報多数。</p>	<p>会期 2012年3月16日～3月17日 場所 東京ビッグサイト(東京) 入場料 無料(招待状持参者のみ) 主催 ジャパン建材(株) WEB http://www.ikenzai.co.jp/fair/index.html</p>